



平成 29 年度実績

教育に関する事務の管理及び  
執行状況の点検・評価報告書

平成 30 年 12 月

播磨町教育委員会

## 目 次

|     |                                 |    |
|-----|---------------------------------|----|
| I   | 教育委員会の事務の点検及び評価の概要等             | 1  |
| II  | 教育委員会の活動状況                      | 2  |
| III | 「教育振興基本計画」体系図                   | 5  |
| IV  | 施策の取組状況                         | 6  |
|     | ○政策 1-(1)-① 「生きる力」の基礎を育む幼児教育の充実 | 7  |
|     | ○政策 1-(2)-① 確かな学力の育成            | 8  |
|     | ○政策 1-(2)-② 豊かな心の育成             | 13 |
|     | ○政策 1-(2)-③ 健やかな体の育成            | 15 |
|     | ○政策 1-(2)-④ 防災教育・安全教育の徹底        | 17 |
|     | ○政策 1-(3)-① 体験的なキャリア教育の推進       | 19 |
|     | ○政策 1-(3)-② 「自立」をめざす教育の充実       | 20 |
|     | ○政策 2-(1)-① 地域ぐるみでの子どもの育成       | 21 |
|     | ○政策 2-(1)-② 家庭や地域社会の教育力の向上      | 23 |
|     | ○政策 2-(2)-① 教育環境の整備             | 24 |
|     | ○政策 2-(2)-② ICT教育の推進            | 25 |
|     | ○政策 2-(3)-① 特別支援教育の充実           | 26 |
|     | ○政策 2-(3)-② 教職員の資質向上            | 28 |
|     | ○政策 3-(1)-① グローバル化への対応          | 30 |
|     | ○政策 3-(1)-② 郷土文化への理解の促進         | 31 |
|     | ○政策 3-(1)-③ 郷土文化財の活用            | 32 |
|     | ○政策 3-(2)-① 生涯学習の機会の提供          | 33 |
|     | ○政策 3-(2)-② 生涯学習関係団体の活動支援       | 34 |
|     | ○政策 3-(2)-③ スポーツの振興             | 35 |
|     | ○政策 3-(3)-① 人権教育の推進             | 36 |
|     | ○政策 3-(3)-② 人権学習の充実             | 37 |
|     | ○施設改修について                       | 38 |
| V   | 教育委員会の事務の点検及び評価に係る評価委員の意見       | 40 |
|     | 参考資料 平成29年度事業評価書（教育委員会分）        | 別冊 |

## I 教育委員会の事務の点検及び評価の概要等

### 1 概要

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第 26 条の規定により、教育委員会では毎年、前年度の教育に関する事務の管理及び執行の状況について、学識経験者の知見を活用して点検及び評価を実施し、その結果に関する報告書を町議会に提出するとともに、公表することとなっております。

播磨町教育委員会においては、平成 28 年に「教育振興基本計画（第 2 期）」を策定し、播磨町の教育理念として「古代から未来へ いきいき きらめく人づくり」を掲げ、事務事業を推進しています。このことから、「教育振興基本計画（第 2 期）」に従って事務事業を点検及び評価の対象とすることで、進行管理とすることとしています。

#### 参考

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第 26 条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第一項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第四項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

### 2 点検及び評価の対象

基本方針として

- ① 園児・児童・生徒が自立して社会で生きていく力を育成する
- ② 家庭・学校園・地域社会との連携を密にし、総合的な教育を推進する
- ③ わがまち播磨町に誇りをもち、生涯にわたって、いきいきと学び続けることができる教育を推進する

という 3 点の方針のもと、9 領域 21 の重点項目に該当する事務事業としました。

### 3 点検及び評価の方法

1. 各担当所属による点検及び評価の実施  
対象の事務事業について、各担当所属が成果報告書に基づき政策評価シートを作成し、自己点検及び自己評価を実施し、教育委員会に報告します。
2. 教育委員による点検及び評価  
各担当所属からの報告を受け、教育委員による点検及び評価を行います。
3. 学識経験者等評価委員による評価委員会  
教育委員会が実施した点検及び評価について、学識経験者等による各担当所属への聞き取り調査、評価に対する講評を実施し、意見等をいただきます。
4. 議会への提出  
いただいた意見等をもとに報告書を作成し、議会に提出します。
5. 町民への公表  
報告書を播磨町ホームページに公開します。

## II 教育委員会の活動状況

### 1. 平成 29 年度在籍 教育委員会名簿

(平成 30 月 3 月 31 日現在)

| 区 分      | 氏 名     | 任期満了日             |
|----------|---------|-------------------|
| 教 育 長    | 横 田 一   | 平成 31 年 9 月 30 日  |
| 教育長職務代理者 | 豊 福 一   | 平成 31 年 12 月 13 日 |
| 委 員      | 石 澤 雄一郎 | 平成 33 年 9 月 30 日  |
| 委 員      | 西 尾 弘子  | 平成 30 年 12 月 7 日  |
| 委 員      | 田 尻 美恵子 | 平成 32 年 9 月 30 日  |

## 2. 会議開催状況

| 月  | 日  | 号  | 議案  | 号  | 報告                              | 号 | 協議                            |
|----|----|----|---|----|---------------------------------|---|-------------------------------|
| 4  | 14 |    |   |    |                                 |   |                               |
| 5  | 23 | 1  | 平成30年度使用播磨町教科用図書選定委員の委嘱の件                               | 1  | 平成29年度学校評議員の委嘱の件                |   |                               |
|    |    | 2  | 加印地区共同調査委員会規約について                                       | 2  | 平成29年度播磨町トライやる・ウィーク推進協議会委員の委嘱の件 |   |                               |
|    |    | 3  | 加古川市教育委員会、高砂市教育委員会、稲美町教育委員会、播磨町教育委員会の協力連携に関する協定書の締結について | 3  | 播磨町教育委員会指定校事業に係る研究指定校の決定の件      |   |                               |
|    |    | 4  | 平成29年度播磨町地域の教育力向上事業運営委員の委嘱の件                            | 4  | 平成29年度社会教育委員の委嘱の件               |   |                               |
|    |    |    |   | 5  | 平成29年度社会教育推進委員の委嘱の件             |   |                               |
|    |    |    |   | 6  | 平成29年度いきいき活動推進委員の委嘱の件           |   |                               |
|    |    |    |   | 7  | 平成29年度人権啓発推進委員の委嘱の件             |   |                               |
|    |    |    |   | 8  | 平成29年度人権啓発資料編集委員の委嘱の件           |   |                               |
|    |    |    |   | 9  | 平成28・29年度播磨町スポーツ推進委員の委嘱の件       |   |                               |
| 6  | 27 | 5  | 教育委員会評価委員の委嘱の件  | 10 | 平成30年度使用播磨町立学校用教科用図書採択方針制定の件    |   |                               |
|    |    | 6  | 平成29年度播磨町教育支援委員の委嘱の件                                    |    |                                 |   |                               |
| 7  | 25 |    |   | 11 | 平成29年度播磨町少年補導委員の委嘱の件            |   |                               |
| 8  | 17 | 7  | 平成30年度使用小学校特別の教科道徳教科用図書の採択の件                            |    |                                 | 1 | 教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価について |
|    |    | 8  | 播磨町就学援助規則の全部を改正する規則制定の件                                 |    |                                 |   |                               |
|    |    | 9  | 播磨町就学援助に関する要綱制定の件                                       |    |                                 |   |                               |
|    |    | 10 | 播磨町立幼稚園保育料徴収条例施行規則の一部を改正する規則制定の件                        |    |                                 |   |                               |
|    |    | 11 | 平成29年播磨町議会9月定例会提出議案の意見について                              |    |                                 |   |                               |
| 9  | 26 | 12 | 平成30年度町立幼稚園園児募集要領制定の件                                   |    |                                 |   |                               |
| 10 | 27 | 13 | 播磨町奨学金条例の一部を改正する条例について                                  |    |                                 | 2 | 教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価について |
| 11 | 20 | 14 | 教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価の件                             |    |                                 | 3 | 平成30年度予算案について                 |
|    |    | 15 | 平成29年播磨町議会12月定例会提出議案の意見について                             |    |                                 |   |                               |
| 12 | 19 | 16 | 播磨町就学援助に関する要綱の一部を改正する要綱制定の件                             |    |                                 |   |                               |
|    |    | 17 | 播磨町奨学金条例施行規則運用要領の一部を改正する要領制定の件                          |    |                                 |   |                               |
|    |    | 18 | 播磨町地域の教育力向上イベント開催事業補助金交付要綱の一部を改正する要綱制定の件                |    |                                 |   |                               |
|    |    | 19 | 播磨町ロードレース大会開催事業補助金交付要綱の一部を改正する要綱制定の件                    |    |                                 |   |                               |
| 1  | 23 | 20 | 平成29年度播磨町少年補導委員の委嘱の件                                    |    |                                 |   |                               |
| 2  | 27 | 21 | 平成29年度播磨町議会3月定例会提出議案の意見について                             |    |                                 |   |                               |
|    |    | 22 | 平成30年度播磨町教育費予算案の意見について                                  |    |                                 |   |                               |
| 3  | 22 | 23 | 教職員の人事に関する件   |    |                                 |   |                               |

### 3. 活動状況等

学校園の訪問や定例会での報告聴取などにより、教育現場の把握に努めるとともに、各種研修会に参加することで、教育行政の諸課題について理解を深めることができました。定例会において、教育行政に係る重要事項を審議し、決定しており、教育行政へのレイマンコントロールの機能を果たしています。

また、教育委員会制度改革に伴い、平成 29 年度においても、総合教育会議が 3 回開催されました。

今後も教育政策の方向性を町長と共有しながら、一致してその執行にあたっていきたいと考えています。

### Ⅲ 教育振興基本計画体系図

|                                       |  |  |   |  |
|---------------------------------------|--|--|---|--|
| <b>園児・児童・生徒が自立して社会で生きていく力を育成する</b>    |  |  |   |  |
| 1                                     | <b>きめ細かな幼児教育の推進</b>                                  |  |   |  |
|                                       | (1)  | ① 「生きる力」の基礎を育む幼児教育の充実  | 子供美術展事業   |  |
|                                       | <b>「生きる力」を育む教育の推進</b>                                |  |   |  |
|                                       | (2)  | ① 確かな学力の育成   | 奨学基金積立事業<br>小・中学校就学援助事業<br>サポートチーム播磨推進事業              |  |
|                                       |  | ② 豊かな心の育成  | 子ども支援事業<br>小学校体験活動事業                                  |  |
|                                       |  | ③ 健やかな体の育成   | 学校給食施設検討事業<br>小・中学校・幼稚園保健衛生事業<br>小中学校給食事業             |  |
|                                       |  | ④ 防災教育・安全教育の徹底   | 交通安全街頭指導事業  |  |
|                                       | <b>キャリア教育の推進</b>                                     |  |   |  |
|                                       | (3)  | ① 体験的なキャリア教育の推進  | 小学校体験活動事業   |  |
|                                       |  | ② 「自立」をめざす教育の充実  | 小学校体験活動事業<br>読書活動推進事業<br>「トライやる・ウィーク」事業               |  |
| <b>家庭・学校園・地域社会の連携を密にし、総合的な教育を推進する</b> |  |  |   |  |
| 2                                     | <b>家庭・学校園・地域社会の連携</b>                                |  |   |  |
|                                       | (1)  | ① 地域ぐるみでの子どもの育成  | 青少年健全育成事業   |  |
|                                       |  | ② 家庭や地域社会の教育力の向上   | 家庭教育啓発事業<br>地域の教育力向上事業                                |  |
|                                       | <b>信頼される教育環境の構築</b>                                  |  |   |  |
|                                       | (2)  | ① 教育環境の整備  | 小・中学校・幼稚園施設維持管理事業<br>小・中学校・幼稚園運営備品整備事業                |  |
|                                       |  | ② ICT教育の推進   | 学校情報化推進事業   |  |
|                                       | <b>学校力の向上</b>  |  |   |  |
|                                       | (3)  | ① 特別支援教育の充実  | 特別支援教育総合推進事業  |  |
|                                       |  | ② 教職員の資質向上   | 教育研究指導事業<br>播磨町教育委員会指定校事業                             |  |
|                                       | <b>ふるさと播磨町に誇りを持ち、生涯にわたって、いきいきと学び続けることができる教育を推進する</b> |  |   |  |
| 3                                     | <b>ふるさとを愛する心の醸成</b>                                  |  |   |  |
|                                       | (1)  | ① グローバル化への対応   | 小学校英語活動推進事業<br>外国人英語指導助手招致事業<br>まちの先覚者顕彰事業<br>特別展開催事業 |  |
|                                       |  | ② 郷土文化への理解の促進  | 親子文化財教室開催事業<br>郷土PRコンテンツ制作事業<br>大中遺跡まつり事業             |  |
|                                       |  |  | ③ 郷土文化財の活用  | 文化財保護啓発事業<br>文化財保護審議会運営事業<br>歴史講座開催事業                  |
|                                       |  |  |   | <b>生涯学習の推進</b>   |
|                                       |  | (1)  | ① 生涯学習の機会の提供  | 公民館管理運営事業<br>コミュニティセンター管理運営事業<br>図書館管理運営事業<br>宮部文庫設置事業 |
|                                       |  |  | (2)   | ② 生涯学習関係団体の活動支援  |
|                                       | ③ スポーツの振興  | 体育レクリエーション推進事業<br>学校開放管理運営事業<br>地域スポーツクラブ支援事業<br>学校プール一般開放管理運営事業<br>スポーツ施設管理事業 |   |  |
|                                       |  | <b>人権尊重の地域づくり</b>  |   |  |
|                                       |  | (3)  | ① 人権教育の推進   | 人権教育啓発事業<br>人権教育研究事業<br>男女共同参画推進事業                     |
|                                       | ② 人権学習の充実  |  | 人権教育啓発事業<br>人権教育研究事業<br>男女共同参画推進事業                    |  |

#### IV 施策の取組状況

施策ごとに、平成 29 年度の執行状況について評価します。その取組状況について、評価シートを作成しています。

##### \*評価シートの見方

|                               |   |     |   |   |   |     |   |     |   |     |   |     |   |     |   |     |   |     |   |   |
|-------------------------------|---|-----|---|---|---|-----|---|-----|---|-----|---|-----|---|-----|---|-----|---|-----|---|---|
| 上段:教育振興基本計画体系図の基本方針 1～3       |   |     |   |   |   |     |   |     |   |     |   |     |   |     |   |     |   |     |   |   |
| 中段:教育振興基本計画体系図の領域(1)～(3)の政策番号 |   |     |   |   |   |     |   |     |   |     |   |     |   |     |   |     |   |     |   |   |
| 下段:教育振興基本計画体系図の重点項目①～④の施策番号   |   |     |   |   |   |     |   |     |   |     |   |     |   |     |   |     |   |     |   |   |
| 1                             |   |     |   |   |   | 2   |   |     |   |     |   | 3   |   |     |   |     |   |     |   |   |
| (1)                           |   | (2) |   |   |   | (3) |   | (1) |   | (2) |   | (3) |   | (1) |   | (2) |   | (3) |   |   |
| ①                             | ① | ②   | ③ | ④ | ① | ②   | ① | ②   | ① | ②   | ① | ②   | ① | ②   | ③ | ①   | ② | ③   | ① | ② |

|     |
|-----|
| 政策名 |
|-----|

|      |         |
|------|---------|
| 施策名  | 施策名     |
| 主な取組 | 施策の主な取組 |

|       |                                |
|-------|--------------------------------|
| 実施内容  | 施策の主な実施内容                      |
| 事業評価書 | 参考資料「平成 29 年度事業評価書（教育委員会分）」該当頁 |

|    |               |
|----|---------------|
| 評価 | 施策を実施した成果への評価 |
|----|---------------|

|        |                 |
|--------|-----------------|
| 課題     | 評価を踏まえながらの課題    |
| 今後の方向性 | 評価や課題をうけての今後の方針 |

基本方針1《園児・児童・生徒が自立して社会で生きていく力を育成する》

| 1   |     |   |   |     | 2   |     |   |     |     | 3   |   |   |     |  |
|-----|-----|---|---|-----|-----|-----|---|-----|-----|-----|---|---|-----|--|
| (1) | (2) |   |   | (3) | (1) | (2) |   | (3) | (1) | (2) |   |   | (3) |  |
| ①   | ①   | ② | ③ | ④   | ①   | ②   | ③ | ④   | ①   | ②   | ③ | ④ | ⑤   |  |

(1) きめ細かな幼児教育の推進

|      |   |
|------|---|
| 施策名  | ①「生きる力」の基礎を育む幼児教育の充実  |
| 主な取組 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 人格形成の基礎を育む幼児教育の充実</li> <li>・ 社会的自立の基礎を培う体験活動の充実</li> <li>・ 多様な形態での保育の推進</li> </ul> |

|       |  |
|-------|--|
| 実施内容  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 外国人講師による国際理解教育（英語での活動）の実施</li> <li>・ 「子ども美術展」の開催</li> <li>・ 給食や運動会を通じ小学校との連携</li> </ul> |
| 事業評価書 | P1   |

|    |   |
|----|---|
| 評価 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 幼児期から外国語に触れる機会を持つことができ、外国の人と積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度が育っている。</li> <li>・ 子ども美術展は、造形感覚・創造性を育成し、広く地域の方々にも教育成果を発表する良い機会になった。</li> <li>・ 就学予定の小学校の運動会に参加することにより、小学校生活への期待と小学生との交流による安心感を得ることができている。</li> </ul> |
|----|---|

|        |   |
|--------|---|
| 課題     | ・ 幼稚園と小学校が円滑な接続を図るための交流が必要である。  |
| 今後の方向性 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 就学に関する情報共有を図ったり幼小の合同研修会（外国語活動等）を実施したりするなど、円滑な接続のための取組を推進していく。</li> <li>・ 幼小の相互の教育理解のため、幼稚園及び小学校の研究授業に互いが参加できるような研修を進める。</li> </ul> |

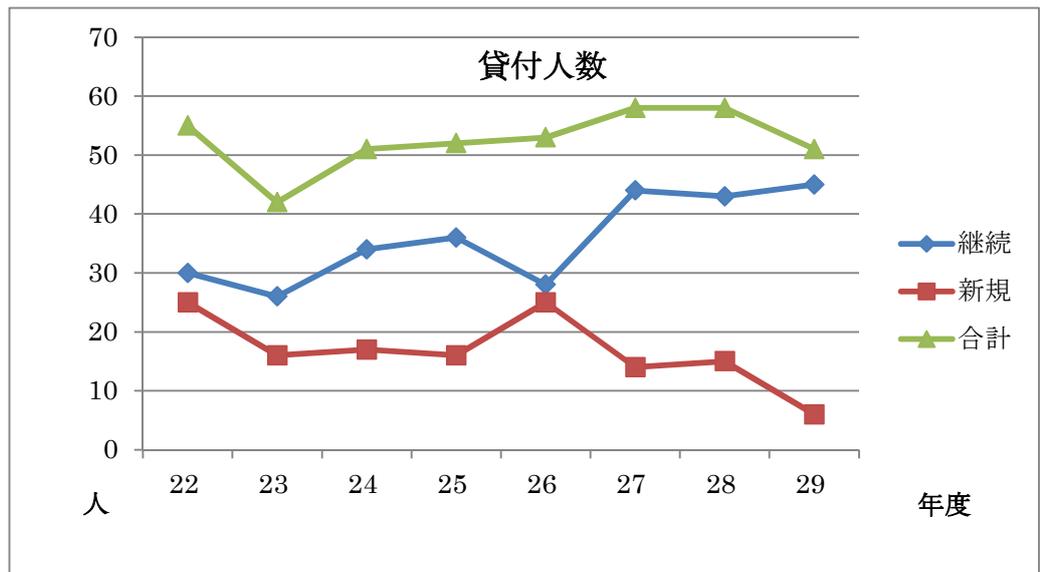
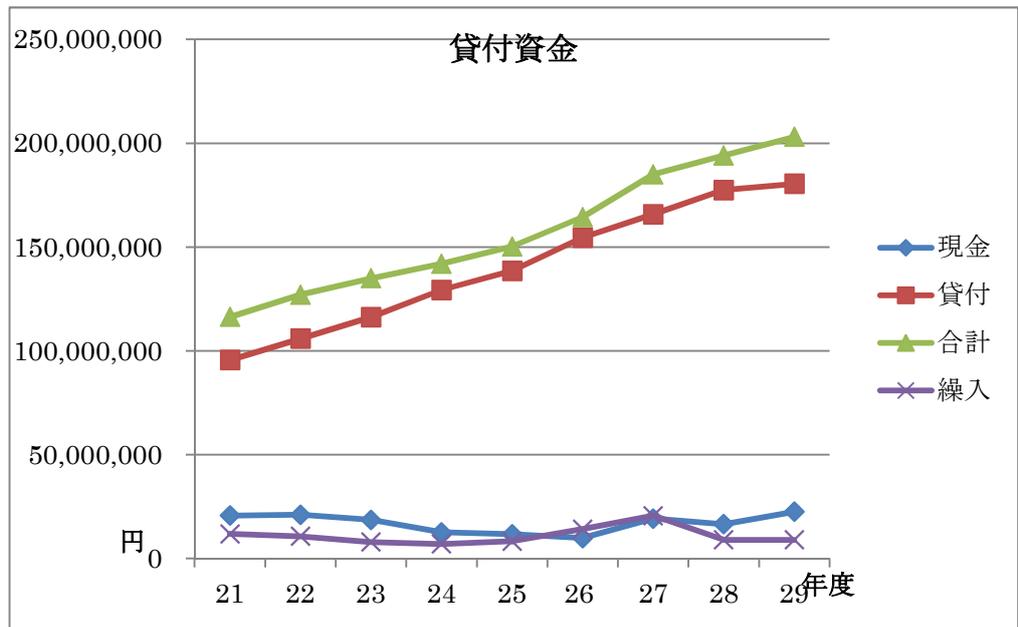
| 1   |     |   |   |   | 2   |     |     |     |     | 3   |     |     |     |     |     |     |   |   |
|-----|-----|---|---|---|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|---|---|
| (1) | (2) |   |   |   | (3) | (1) | (2) | (3) | (1) | (2) | (3) | (1) | (2) | (3) | (1) | (2) |   |   |
| ①   | ①   | ② | ③ | ④ | ①   | ②   | ①   | ②   | ①   | ②   | ①   | ②   | ③   | ①   | ②   | ③   | ① | ② |

**(2) 「生きる力」を育む教育の推進**

|      |             |
|------|-------------|
| 施策名  | ①確かな学力の育成   |
| 主な取組 | ・教育の機会を保障する |

|       |                       |
|-------|-----------------------|
| 実施内容  | ・就学援助事業の実施<br>・奨学金の貸与 |
| 事業評価書 | P2～P4                 |

| 評価 | <p>・就学援助制度は、生活保護基準の改正による影響を受けることなく、経済的支援が図られた。また、新入学児童生徒学用品費について、入学前の早期支給を実施し、必要な時期に必要な援助をすることができた。</p>  |         |         |         |    |      |      |    |      |      |    |      |      |    |      |      |    |      |      |    |      |      |    |      |      |    |      |      |    |      |
|----|--|---------|---------|---------|----|------|------|----|------|------|----|------|------|----|------|------|----|------|------|----|------|------|----|------|------|----|------|------|----|------|
|    | <p style="text-align: center;"><b>就学援助受給者割合</b></p> <table border="1"> <caption>就学援助受給者割合 (推定値)</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>小学校 (%)</th> <th>中学校 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>21</td><td>15.5</td><td>15.5</td></tr> <tr><td>22</td><td>15.0</td><td>15.0</td></tr> <tr><td>23</td><td>14.5</td><td>14.5</td></tr> <tr><td>24</td><td>15.5</td><td>17.0</td></tr> <tr><td>25</td><td>15.0</td><td>17.0</td></tr> <tr><td>26</td><td>16.5</td><td>17.5</td></tr> <tr><td>27</td><td>16.5</td><td>17.5</td></tr> <tr><td>28</td><td>15.5</td><td>17.5</td></tr> <tr><td>29</td><td>15.5</td><td>16.5</td></tr> </tbody> </table> <p>・奨学金について、貸付人数を制限せず、希望者すべてに貸し付けを行うことができた。滞納対策も、滞納者の現状を把握しながら、分割納付など考慮しながら返済できるよう支援することができた。</p> <p>・平成 29 年度に債権対策推進委員会を立ち上げ、滞納対策の基本方針を策定するための協議を開始した。</p> | 年度      | 小学校 (%) | 中学校 (%) | 21 | 15.5 | 15.5 | 22 | 15.0 | 15.0 | 23 | 14.5 | 14.5 | 24 | 15.5 | 17.0 | 25 | 15.0 | 17.0 | 26 | 16.5 | 17.5 | 27 | 16.5 | 17.5 | 28 | 15.5 | 17.5 | 29 | 15.5 |
| 年度 | 小学校 (%)  | 中学校 (%) |         |         |    |      |      |    |      |      |    |      |      |    |      |      |    |      |      |    |      |      |    |      |      |    |      |      |    |      |
| 21 | 15.5   | 15.5    |         |         |    |      |      |    |      |      |    |      |      |    |      |      |    |      |      |    |      |      |    |      |      |    |      |      |    |      |
| 22 | 15.0   | 15.0    |         |         |    |      |      |    |      |      |    |      |      |    |      |      |    |      |      |    |      |      |    |      |      |    |      |      |    |      |
| 23 | 14.5   | 14.5    |         |         |    |      |      |    |      |      |    |      |      |    |      |      |    |      |      |    |      |      |    |      |      |    |      |      |    |      |
| 24 | 15.5   | 17.0    |         |         |    |      |      |    |      |      |    |      |      |    |      |      |    |      |      |    |      |      |    |      |      |    |      |      |    |      |
| 25 | 15.0   | 17.0    |         |         |    |      |      |    |      |      |    |      |      |    |      |      |    |      |      |    |      |      |    |      |      |    |      |      |    |      |
| 26 | 16.5   | 17.5    |         |         |    |      |      |    |      |      |    |      |      |    |      |      |    |      |      |    |      |      |    |      |      |    |      |      |    |      |
| 27 | 16.5   | 17.5    |         |         |    |      |      |    |      |      |    |      |      |    |      |      |    |      |      |    |      |      |    |      |      |    |      |      |    |      |
| 28 | 15.5   | 17.5    |         |         |    |      |      |    |      |      |    |      |      |    |      |      |    |      |      |    |      |      |    |      |      |    |      |      |    |      |
| 29 | 15.5   | 16.5    |         |         |    |      |      |    |      |      |    |      |      |    |      |      |    |      |      |    |      |      |    |      |      |    |      |      |    |      |



|     |  |
|-----|--|
| 課 題 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 就学援助の認定基準額については、今後も生活保護基準の改正による影響を受けることなく実施できるよう検討する必要がある。</li> <li>・ 奨学金制度は、国も制度を見直しており、本町においても検討する必要がある。</li> <li>・ 奨学金の滞納対策については、様々な私債権事業の収納率を向上させるための方策を滞納対策の基本方針に盛り込むよう、債権対策推進委員会において協議する必要がある。</li> </ul> |
|-----|--|

|        |  |
|--------|--|
| 今後の方向性 | <ul style="list-style-type: none"><li>・平成 30 年度の就学援助認定基準額についても、生活保護基準の改正による影響を受けることのないように決定する。</li><li>・奨学金制度については、現在の貸付制度を維持しながら、新たな制度について研究する。</li></ul> |
|--------|--|

| 1   |     |   |   |   | 2   |     |     |   |     | 3   |     |   |   |     |   |
|-----|-----|---|---|---|-----|-----|-----|---|-----|-----|-----|---|---|-----|---|
| (1) | (2) |   |   |   | (3) | (1) | (2) |   | (3) | (1) | (2) |   |   | (3) |   |
| ①   | ①   | ② | ③ | ④ | ①   | ②   | ①   | ② | ①   | ②   | ①   | ② | ③ | ①   | ② |

## (2) 「生きる力」を育む教育の推進

|         |   |
|---------|---|
| 施 策 名   | ①確かな学力の育成   |
| 主 な 取 組 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 基礎的、基本的な学力の定着</li> <li>・ 自ら学ぶ意欲・態度、能力の育成</li> <li>・ 特色ある総合的な学習の推進</li> </ul> |

|         |  |
|---------|--|
| 実 施 内 容 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 小、中学校への学校生活サポーターの配置</li> <li>・ 研究授業を通じた教師の授業力の向上</li> <li>・ 家庭の教育力の向上を目指した講演会の開催</li> <li>・ 家庭教育資料の発行</li> <li>・ 国際理解教育、外国語活動の充実</li> </ul> |
| 事業評価書   | P5   |

|     |   |
|-----|---|
| 評 価 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学校生活サポーターの配置で、きめ細かな指導ができ、児童の興味・関心を高め、知識や技能を活用する力を育成することができた。また、生活上の支援を必要とする児童生徒に寄り添うことで、心の安定を図ることに努めることができた。</li> <li>・ 研究指定校を設け、学校の実態に応じた教科指導の研究を進めることにより、教師の授業力の向上が児童生徒の確かな学力に結びついている。</li> <li>・ 外国人ALTと進んでコミュニケーションを取ろうとする児童が増えている。また、ヒアリングの力がついたり、ネイティブな発音ができたりするようになった児童も多い。</li> <li>・ 毎月の広報誌への掲載や、講演会の実施において、家庭教育の啓発ができた。</li> </ul> |
|-----|---|

|     |  |
|-----|--|
| 課 題 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ サポートチーム播磨へのボランティア登録数をさらに増加させる必要がある。</li> <li>・ 新学習指導要領の実施に向け、児童生徒が自ら課題を見つけ、考え、判断して解決していくことを促す授業、また、自ら発信する能力の育成する授業をさらに展開していく必要がある。</li> </ul> |
|-----|--|

|               |  |
|---------------|--|
| <p>今後の方向性</p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・各種団体のボランティアや学生ボランティアの方々にサポートチーム播磨への参画を促すように努め、今後も地域ぐるみで子どもを支援する体制を構築していく。</li> <li>・学校生活サポーターの効果的な活用について検証していく必要がある。</li> <li>・新学習指導要領を踏まえた研修会を実施し、教師の授業力向上に取り組むとともに、主体的、対話的で深い学びをめざした授業を展開し、児童・生徒の基礎的・基本的な学習内容の確実な定着を図る。</li> <li>・外国語の教科化に向けて、小学校教員が外国語の授業実践を行えるよう、今までのノウハウを得て授業力向上のための研修を行う。</li> </ul> |
|---------------|--|

| 1   |     |   |   |   | 2   |     |     |     |     | 3   |     |     |     |     |     |     |   |   |
|-----|-----|---|---|---|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|---|---|
| (1) | (2) |   |   |   | (3) | (1) | (2) | (3) | (1) | (2) | (3) | (1) | (2) | (3) | (1) | (2) |   |   |
| ①   | ①   | ② | ③ | ④ | ①   | ②   | ①   | ②   | ①   | ②   | ①   | ②   | ③   | ①   | ②   | ③   | ① | ② |

## (2) 「生きる力」を育む教育の推進

|         |  |
|---------|--|
| 施 策 名   | ②豊かな心の育成   |
| 主 な 取 組 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 道徳的実践力の育成</li> <li>・ 児童生徒の自己実現への支援</li> <li>・ 豊かな人権感覚を持った児童生徒の育成</li> <li>・ 人間的なふれあいに基づく生徒指導の推進</li> <li>・ 共に生きる社会を目指す福祉教育の推進</li> <li>・ 多文化理解を深める国際理解教育の推進</li> <li>・ 望ましい集団活動としての特別活動の充実</li> <li>・ 人と自然との調和を目指す環境教育の推進</li> </ul>  |
| 実 施 内 容 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 道徳研修会の実施</li> <li>・ 自然体験活動の実施 <ul style="list-style-type: none"> <li>小学校3年生「環境体験学習」</li> <li>小学校5年生「自然学校」</li> </ul> </li> <li>・ 情報モラルについての学習会の開催</li> <li>・ 福祉体験活動の実施 <ul style="list-style-type: none"> <li>車椅子体験、アイマスク体験、手話体験</li> <li>昔の遊び体験、点字体験</li> </ul> </li> <li>・ 多文化共生サポーターの配置</li> </ul> |
| 事業評価書   | P6～P7  |

|               |  |
|---------------|--|
| <p>評 価</p>    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・2018年の学習指導要領改訂、道徳の教科化に向けて小中学校教員を対象に研修会を開催した。</li> <li>・播磨町教育委員会指定校事業として、播磨中学校が道徳の研究を推進しており、研究発表会を実施し、町内の教職員の研修を深めることができた。</li> <li>・環境体験学習、自然学校を通じて、豊かな感性や社会性を育むことができた。</li> <li>・それぞれの学校で情報モラルの学習会・講演会を開催し、インターネット、SNSなどの正しい使い方やマナーについて学んだ。</li> <li>・社会福祉協議会の協力を得て、各小学校において福祉体験を行い、障害のある方々への理解を深めることができた。</li> <li>・多文化共生サポーターを配置し、外国人児童生徒等に係る支援を行った。</li> </ul> |
| <p>課 題</p>    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・体験活動での学びを、定着させたり、生活に広げたりしていく学習の場が必要である。</li> <li>・道徳の教科化に向けて評価についてもさらに研修が必要である。</li> <li>・いじめ問題、不登校の増加等が依然として大きな社会問題となっている。</li> </ul>   |
| <p>今後の方向性</p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・体験活動がさらに有意義なものになるように、教育課程にしっかりと位置付け、教科や総合的な学習、道徳等と関連付けた指導を行う。</li> <li>・道徳の教科化に向けて、道徳授業のさらなる研究推進と研修の機会を提供することで、教員の資質・能力の向上を図る。</li> <li>・いじめ、不登校、問題行動の未然防止とその解消に向け、関係諸機関と連携を図った取り組みを今後も推進していく。</li> <li>・全教職員の共通理解のもと生徒指導を推進し、お互いの人権を大切にしたい取組を推進していく。</li> </ul>   |

| 1   |     |   |   |   | 2   |     |     |     |     | 3   |     |     |     |     |     |     |   |   |
|-----|-----|---|---|---|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|---|---|
| (1) | (2) |   |   |   | (3) | (1) | (2) | (3) | (1) | (2) | (3) | (1) | (2) | (3) | (1) | (2) |   |   |
| ①   | ①   | ② | ③ | ④ | ①   | ②   | ①   | ②   | ①   | ②   | ①   | ②   | ③   | ①   | ②   | ③   | ① | ② |

## (2) 「生きる力」を育む教育の推進

|         |  |
|---------|--|
| 施 策 名   | ③健やかな体の育成  |
| 主 な 取 組 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 体力・運動能力の向上に努める</li> <li>・ 発達段階に応じた食育を推進する</li> <li>・ 生涯にわたる健康の基礎を培う学校保健の充実</li> </ul> |

|         |   |
|---------|---|
| 実 施 内 容 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 幼稚園、小中学校で子どもたちの検診と教職員の健診を実施</li> <li>・ アレルギー疾患のある児童生徒への適切な対応のため、医師の診断料の一部を助成</li> <li>・ 小中学校の完全給食の実施</li> <li>・ 体育の授業の充実</li> <li>・ 薬物乱用、喫煙・飲酒などの健康問題について、正しい知識と予防の習慣を身につけさせる</li> </ul> |
| 事業評価書   | P8～P13  |

|     |  |
|-----|--|
| 評 価 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 子どもたちや教職員の健康状態の確認及び早期発見を目指し健康診断を実施することで健康の保持増進を図れた。</li> <li>・ 小学校の給食施設整備について、平成28年度の調査業務結果をもとに基本設計を完了した。</li> <li>・ 教員向けの実技講習会を開催し、授業力の向上を図ることができた。</li> <li>・ 関係機関とも連携し、児童・生徒対象の薬物乱用、喫煙・飲酒などに関わる学習会を開催し、正しい知識と予防の習慣を身につけさせることができた。</li> </ul> |
|-----|--|

|     |  |
|-----|--|
| 課 題 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 検診の結果、精密検査が必要な者に関し、その追跡を行い治療等適切に行われているか、確認する仕組みが必要である。</li> <li>・ 給食施設改修に伴う調理業務業者委託について、業者選定や人員整理を行う必要がある。</li> <li>・ 継続的に運動をしている子どもとそうでない子どもとの差が見受けられる。対策の検討が必要である。</li> </ul> |
|-----|--|

|               |  |
|---------------|--|
| <p>今後の方向性</p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・教職員定期健康診断における要精密検査者に対して、再検査結果の報告を促すため、未報告者への再通知等を行い、学校と連携しながら教職員の健康状態を確認できるよう努める。</li> <li>・小中学校においては、体育授業やクラブ活動・部活動を通じて、基礎体力の向上を目指す。</li> <li>・幼児期運動指針や県が作成している運動プログラム（DVD）を保育や授業で積極的に活用していく。</li> <li>・学校給食施設の調理業務業者委託については、給食マニュアル、仕様書等を作成し、平成 32 年度からの委託に向けての業者選定に備える。</li> <li>・学校給食調理業務に携わる職員の今後の処遇については、事前の情報通知を心がけ、円滑な人員整理に努める。</li> </ul> |
|---------------|--|

| 1   |     |   |   |   | 2   |     |     |     |     | 3   |     |     |     |     |   |
|-----|-----|---|---|---|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|---|
| (1) | (2) |   |   |   | (3) | (1) | (2) | (3) | (1) | (2) | (3) | (1) | (2) | (3) |   |
| ①   | ①   | ② | ③ | ④ | ①   | ②   | ①   | ②   | ①   | ②   | ①   | ②   | ③   | ①   | ② |

## (2) 「生きる力」を育む教育の推進

|         |  |
|---------|--|
| 施 策 名   | ④防災教育・安全教育の徹底  |
| 主 な 取 組 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・安全・安心で快適な教育環境の整備に努める</li> <li>・幼児児童生徒の居場所となる教育環境づくりに努める</li> <li>・学校園安全計画に基づき、学校園生活における安全指導の徹底を図る</li> <li>・防災教育の推進</li> </ul> |

|         |   |
|---------|---|
| 実 施 内 容 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・自動施錠や防犯カメラの設置</li> <li>・交通安全指導員の配置、通学路交通安全プログラムの実施</li> <li>・交通安全教室の開催</li> <li>・地震、火災などの避難訓練、不審者対応訓練などの実施</li> <li>・AED等を使った心肺蘇生法講習会の実施</li> <li>・特別活動や道徳の時間を使った防災教育の推進</li> </ul> |
| 事業評価書   | P14   |

|     |  |
|-----|--|
| 評 価 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・通学路交通安全プログラムは、庁内外の関係機関連携により一斉点検を実施したことで、通学路の安全確保に努めることができた。</li> <li>・交通安全指導員の配置は、児童の安全への安心感を与えることとなった。</li> <li>・交通安全教室では、安全な歩行、安全な自転車の乗り方を学び、交通ルールの順守と交通事故の防止を図った。</li> <li>・各学校園で、火災、地震、不審者などの避難訓練を年間計画に位置付けて実施し、危険予知・安全保持・危険対処能力の育成を図った。</li> <li>・学校園安全計画に基づき、毎月15日を学校安全の日と位置づけ、安全指導・遊具等の安全確認を実施することで、安全教育にも取り組んだ。</li> </ul> |
|-----|--|

|                |  |
|----------------|--|
| <p>課<br/>題</p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・通学路の危険個所対策では、信号機の設置なども限界があることから別の対応を検討する必要がある。</li> <li>・ひとり親家庭の増加、不登校児童生徒の増加に伴い、子どもたちの居場所づくりが求められている。</li> <li>・子どもたちが「自分の命は自分で守る」ことができるよう主体的に行動できる力（自ら考え、判断し、行動する力）を育成することが必要。</li> </ul>  |
| <p>今後の方向性</p>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・通学路の危険個所対策については、通学路交通安全プログラムに基づき、定期的に委員会を開催し、より安全な通学路を確保できるよう、検討していく。</li> <li>・指導員の資質向上のためにマニュアルの実践を指導していく。</li> <li>・子どもたちの「サード・プレイス」（第3の居場所）を地域と連携して構築し、合わせて学習支援についても検討していく。</li> <li>・防災教育、安全教育のさらなる充実を図り、子ども対象の救急救命講習会等の導入についても検討し、子どもたちの危機管理意識を高める取組を進めていく。</li> </ul> |

| 1   |     |   |   |   | 2   |     |     |   |     | 3 |     |   |   |     |   |     |   |   |
|-----|-----|---|---|---|-----|-----|-----|---|-----|---|-----|---|---|-----|---|-----|---|---|
| (1) | (2) |   |   |   | (3) | (1) | (2) |   | (3) |   | (1) |   |   | (2) |   | (3) |   |   |
| ①   | ①   | ② | ③ | ④ | ①   | ②   | ①   | ② | ①   | ② | ①   | ② | ③ | ①   | ② | ③   | ① | ② |

### (3) キャリア教育の推進

|      |  |
|------|--|
| 施策名  | ①体験的なキャリア教育の推進   |
| 主な取組 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・多様な体験活動の実施</li> <li>・トライやるウイークの充実</li> </ul> |

|       |   |
|-------|---|
| 実施内容  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・自然体験、社会体験、就学体験等の実施</li> <li>小学校3年生「環境体験学習」</li> <li>小学校5年生「自然学校」</li> <li>中学校2年生「トライやる・ウイーク」「トライやる」アクション</li> </ul> |
| 事業評価書 | P7  |

|    |   |
|----|---|
| 評価 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・福祉体験やボランティア体験、就業体験等、人や社会とかかわる活動を通して、思いやりの心や責任感を持って積極的に行動する力を育むことができた。</li> <li>・自然学校において、自分に与えられた役割について責任を持って行うこと、コミュニケーション能力、グループ内での課題解決能力を身に付けることができた。</li> </ul> |
|----|---|

|        |  |
|--------|--|
| 課題     | <ul style="list-style-type: none"> <li>・「トライやる・ウイーク」においては啓発活動や新規事業所の開拓が必要となっている。また、すでに受け入れ可能な事業所についても、体験内容の検討を行い、多様な業種で体験ができるような工夫が必要である。</li> <li>・子どもたち一人一人が夢を持ち、具体的な計画を立て、それに向かって進んでいく力（キャリアプランニング能力）を育成していく必要がある。</li> </ul> |
| 今後の方向性 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・トライやる・ウイーク推進協議会などの協力を得て、啓発活動や新規事業所の開拓に努める。</li> <li>・キャリアノートを積極的に活用することにより、児童生徒の成長や変化を評価し、一人一人の指導・支援に役立てる。</li> </ul>  |

| 1   |     |   |   |     | 2   |     |   |     |     | 3   |   |   |     |   |   |   |
|-----|-----|---|---|-----|-----|-----|---|-----|-----|-----|---|---|-----|---|---|---|
| (1) | (2) |   |   | (3) | (1) | (2) |   | (3) | (1) | (2) |   |   | (3) |   |   |   |
| ①   | ①   | ② | ③ | ④   | ①   | ②   | ① | ②   | ①   | ②   | ③ | ① | ②   | ③ | ① | ② |

### (3) キャリア教育の推進

|         |  |
|---------|--|
| 施 策 名   | ②「自立」をめざす教育の充実   |
| 主 な 取 組 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・多様な体験活動の実施</li> <li>・トライやるウイークの充実</li> <li>・学校園の読書環境を整備し、豊かな心の発達を促すとともに自己の生き方についての意識の高揚を図る</li> </ul>  |
| 実 施 内 容 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・自然体験、社会体験、就学体験等の実施<br/>小学校3年生「環境体験学習」<br/>小学校5年生「自然学校」<br/>中学校2年生「トライやる・ウイーク」「トライやる」アクション</li> <li>・学校図書の蔵書の充実、蔵書のデータベース化、検索機能の業務委託</li> </ul>   |
| 事業評価書   | P7、P15～P16   |
| 評 価     | <ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもたちの自立に向け、体験活動における試行錯誤の中で自己認識や自尊感情を高め、学ぶ意欲や成長する意欲を喚起することができた。</li> <li>・選書の工夫で読書に対する意欲、興味・関心を高め、図書室の利用が増えた。</li> <li>・学校図書の蔵書データベース化などにより有効な図書室活用の推進が図られた。</li> <li>・教科指導に関連した選書をし、発展的な授業を行うことができた。</li> </ul> |
| 課 題     | <ul style="list-style-type: none"> <li>・体験活動がより有意義なものになるように、それぞれの目的を明確にし、事前、事後指導の充実を図るなど、キャリア教育の中に位置づける必要がある。</li> </ul>   |
| 今後の方向性  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・学びの成果を発表したり、体験活動で見聞きしたことを各教科の中で取り上げたりするなど、体験を通して学んだことをその後の生活や学習に生かすために事後指導を充実する。</li> </ul>  |

基本方針 2 《家庭・学校園・地域社会の連携を密にし、総合的な教育を推進する》

| 1   |     |   |   |   | 2   |     |     |   |   | 3 |     |     |     |   |   |   |     |   |
|-----|-----|---|---|---|-----|-----|-----|---|---|---|-----|-----|-----|---|---|---|-----|---|
| (1) | (2) |   |   |   | (3) | (1) | (2) |   |   |   | (3) | (1) | (2) |   |   |   | (3) |   |
| ①   | ①   | ② | ③ | ④ | ①   | ②   | ①   | ② | ① | ② | ①   | ②   | ③   | ① | ② | ③ | ①   | ② |

(1) 家庭・学校園・地域社会の連携

|      |                     |
|------|---------------------|
| 施策名  | ①地域ぐるみでの子どもの育成      |
| 主な取組 | ・家庭や地域社会に開かれた学校園づくり |

|       |   |
|-------|---|
| 実施内容  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・播磨町青少年問題協議会の開催</li> <li>・播磨町少年補導委員会による町内巡回補導の実施</li> <li>・中学校区青少年育成推進委員会等の実施</li> <li>・各学校園 PTA による長期休業中のパトロールの実施</li> <li>・シニアクラブ等の地域ボランティアによる登下校時の通学路における安全指導</li> <li>・「サポートチーム播磨」での地域ボランティアの活用</li> </ul> |
| 事業評価書 | P5、P17  |

|    |  |
|----|--|
| 評価 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・播磨町青少年問題協議会、播磨町少年補導委員会、中学校区青少年推進委員会を定期に開催し、播磨町内外の子どもたちの生徒指導上の情報を共有することができた。</li> <li>・町内の幼・小・中・高をはじめ関係諸機関との連携を図りながら、町内巡回補導等、自主的・積極的な活動を展開することにより、問題行動等を未然に防止することができ、また、迅速な対応により、問題が重大化することなく、青少年の健全育成に寄与することができた。</li> <li>・登下校時の通学路の安全指導を地域ボランティアにお願いすることで、登下校時の子供たちの様子も把握することができた。</li> <li>・「サポートチーム播磨」への地域住民からのボランティア登録数が増加し、積極的に教育活動に参加することができた。</li> </ul> |
|----|--|

|                |   |
|----------------|---|
| <p>課<br/>題</p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・少年補導委員の高齢化への対策、人員確保上の対策が必要である。</li> <li>・様々なネット情報が氾濫し、インターネットを利用できる端末での子供同士のトラブル等もあり、情報モラルの確立が求められている。</li> <li>・道徳心のない一部若者の迷惑行為が問題になっている。</li> <li>・「サポートチーム播磨」の地域ボランティアのさらなる参画が求められている。</li> </ul>  |
| <p>今後の方向性</p>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・播磨町青少年問題協議会などの機会をとらまえて、少年補導委員の活動についての周知・啓発を図り、補導委員の人員確保に努める。</li> <li>・情報モラルの学習を推進するとともに、保護者に対しても講演会、研修会を通じて、引き続き啓発を図る。</li> <li>・幼稚園、小中学校それぞれの発達段階に合わせて、規範意識を育てるため、学校生活全体を通して道徳教育を推進する。</li> <li>・学校からの積極的な情報発信に努めることにより、地域との連携を深め、地域ぐるみで子どもたちを見守り、育てる体制作りをさらに推進する。</li> </ul> |

| 1   |     |   |   |   | 2   |     |   |     |     | 3   |   |   |     |   |   |     |   |   |
|-----|-----|---|---|---|-----|-----|---|-----|-----|-----|---|---|-----|---|---|-----|---|---|
| (1) | (2) |   |   |   | (3) | (1) |   | (2) | (3) | (1) |   |   | (2) |   |   | (3) |   |   |
| ①   | ①   | ② | ③ | ④ | ①   | ②   | ① | ②   | ①   | ②   | ① | ② | ③   | ① | ② | ③   | ① | ② |

### (1) 家庭・学校園・地域社会の連携

|      |   |
|------|---|
| 施策名  | ②家庭や地域社会の教育力の向上   |
| 主な取組 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・家庭を対象とした学習機会の場の提供に努める</li> <li>・家庭教育啓発資料の発行に努める</li> <li>・放課後に子どもたちの安全で健やかな居場所づくりの提供に努める</li> </ul> |

|       |  |
|-------|--|
| 実施内容  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・家庭教育学級の開催</li> <li>・家庭教育講演会の開催</li> <li>・家庭教育啓発資料の発行</li> <li>・地域ボランティアによる学校支援活動の参加促進</li> <li>・外部人材の協力による放課後子ども教室の運営</li> </ul> |
| 事業評価書 | P18～P19  |

|    |  |
|----|--|
| 評価 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・家庭学習の手引き「子どもたちのかがやく未来のために」一家庭でできることーに関しては、新たに内容の見直しを行い、就学前のページを追加し、入学説明会等を通じて保護者へ配布活用した。</li> <li>・啓発資料を活用した記事を広報はりま「家庭教育コラム」欄に毎月掲載し、広く住民の方々に啓発する取り組みを継続している。</li> <li>・多くの地域住民が、登下校の見守りや、校内環境整備活動など、学校支援活動に取り組んだ。</li> <li>・放課後子ども教室は「体験の場」から、子どもたちが自由に過ごす「放課後の居場所」へと運営方針を転換して取り組んだ。</li> </ul> |
|----|--|

|        |  |
|--------|--|
| 課題     | <ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもを取り巻く環境は日々変化しており、適切な情報収集と情報提供が求められる。</li> <li>・女性の社会進出が広がるなか、放課後の子どもの居場所づくりの継続が求められる。</li> </ul>                          |
| 今後の方向性 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・社会の変化や、子どもの実態を把握し、家庭教育啓発資料の定期的な改訂を実施する。</li> <li>・放課後に子どもたちの安全で健やかな居場所づくりを提供するため、新たな支援者の発掘・育成を行い、地域の教育力の向上へとつなげる。</li> </ul> |

| 1   |     |   |   |   | 2   |     |     |     |     | 3   |     |     |     |     |   |
|-----|-----|---|---|---|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|---|
| (1) | (2) |   |   |   | (3) | (1) | (2) | (3) | (1) | (2) | (3) | (1) | (2) | (3) |   |
| ①   | ①   | ② | ③ | ④ | ①   | ②   | ①   | ②   | ①   | ②   | ①   | ②   | ③   | ①   | ② |

## (2) 信頼される教育環境の構築

|      |                       |
|------|-----------------------|
| 施策名  | ①教育環境の整備              |
| 主な取組 | ・施設の維持管理及び備品を適正に管理する。 |

|       |                                    |
|-------|------------------------------------|
| 実施内容  | ・施設の保守点検及び維持管理工事の実施<br>・学校運営用備品の購入 |
| 事業評価書 | P 20～P 25                          |

|    |  |
|----|--|
| 評価 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校施設の維持管理を、将来の大規模改修を見据えて行うことにより、予算の適正な執行を図ることができた。</li> <li>・老朽化対策及び耐震のための大規模改修工事などの計画的な実施</li> <li>＊詳細は 38 ページ記載</li> <li>・日常の学校運営に必要な机・椅子等の備品を効率的に整備したことで、教育環境の充実が図られた。</li> <li>・備品購入の執行を、教育振興用備品と併せて行うことにより、スケールメリットが生まれ、安価に購入することができた。</li> </ul> |
|----|--|

|        |  |
|--------|--|
| 課題     | <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校施設の老朽化により、突発的な修繕が発生する可能性があるため、学校運営に支障が出る恐れがある。</li> <li>・備品監査を実施し備品の適正な管理に努めているが、数が膨大であるため、備品管理に労力を要する。</li> </ul> |
| 今後の方向性 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校施設の改修を進め、突発的な修繕を可能な限り抑制する。</li> <li>・備品管理システムの効率的な運用により、備品管理の適正化を図る。</li> </ul>                                    |

|     |     |   |   |   |     |     |     |   |   |   |     |     |     |   |   |   |     |   |
|-----|-----|---|---|---|-----|-----|-----|---|---|---|-----|-----|-----|---|---|---|-----|---|
| 1   |     |   |   |   | 2   |     |     |   |   | 3 |     |     |     |   |   |   |     |   |
| (1) | (2) |   |   |   | (3) | (1) | (2) |   |   |   | (3) | (1) | (2) |   |   |   | (3) |   |
| ①   | ①   | ② | ③ | ④ | ①   | ②   | ①   | ② | ① | ② | ①   | ②   | ③   | ① | ② | ③ | ①   | ② |

## (2) 信頼される教育環境の構築

|      |                          |
|------|--------------------------|
| 施策名  | ② ICT教育の推進               |
| 主な取組 | ・ ICT機器やデジタルコンテンツの積極的な活用 |

|       |  |
|-------|--|
| 実施内容  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ パソコン、電子黒板、デジタルコンテンツを使った授業の実施</li> <li>・ 児童生徒に ICT機器を活用する能力を身につける</li> </ul> |
| 事業評価書 | P26  |

|    |   |
|----|---|
| 評価 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学校での ICT環境整備が進むとともに教員の ICT技術も向上し、デジタルコンテンツや教材ソフトを効果的に活用した教科学習が実施されるようになり、児童・生徒の基礎学力の定着、学習意欲の喚起につながっている。</li> <li>・ 学習の中でパワーポイントを活用した発表を行うなどの活動を行った。</li> <li>・ 実物投影機、大型ディスプレイ、電子黒板、デジタル教科書を活用した授業が日常的に行われている。</li> <li>・ 中学校では総合的な学習の時間を使って「情報」の授業を週1時間実施している。基本的なソフトを使い、学校行事のまとめとして新聞づくりを行うなど、情報教育器機に対応できる力が育ってきている。</li> </ul> |
|----|---|

|        |   |
|--------|---|
| 課題     | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 近年のスマートフォン等の急速な普及に伴い、無料電話アプリやSNS、オンラインゲーム等の利用などを通じて、長時間利用による生活の乱れや不適切な利用による「ネット依存」や「ネット被害」、SNSによるトラブルなど、情報化の進展に伴う新たな問題が生じている。</li> <li>・ 電子黒板等を活用したわかる授業の展開、プログラミング教育等への対応。</li> </ul> |
| 今後の方向性 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 情報モラル指導を教育課程に位置付けて実施する。</li> <li>・ ICT研修を継続して実施し、プログラミング教育についての基礎を学んだり、電子黒板等を使ったわかる授業づくりをさらに推進する。また、教科指導の中でプログラミング的思考を身に付けられるカリキュラムを検討する。</li> </ul>                                   |

| 1   |     |   |   |   | 2   |     |     |   |   | 3 |     |     |     |   |   |   |     |   |
|-----|-----|---|---|---|-----|-----|-----|---|---|---|-----|-----|-----|---|---|---|-----|---|
| (1) | (2) |   |   |   | (3) | (1) | (2) |   |   |   | (3) | (1) | (2) |   |   |   | (3) |   |
| ①   | ①   | ② | ③ | ④ | ①   | ②   | ①   | ② | ① | ② | ①   | ②   | ③   | ① | ② | ③ | ①   | ② |

### (3) 学校力の向上

|         |  |
|---------|--|
| 施 策 名   | ①特別支援教育の充実   |
| 主 な 取 組 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 関係機関と連携した就学指導を充実する</li> <li>・ 校内委員会を活性化し、特別支援教育の充実に努める</li> <li>・ 関係機関との連携を通じ早期発見・早期対応に努める</li> </ul> |

|         |   |
|---------|---|
| 実 施 内 容 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 幼稚園研修会コンサルテーションの実施</li> <li>・ 就学サポート会議の開催</li> <li>・ 校内委員会の促進、研修会の報告、特別支援教育研修会</li> <li>・ 幼保・小連絡会（引継ぎ会）小・中連絡会（引継ぎ会）</li> </ul> |
| 事業評価書   | P 27  |

|     |   |
|-----|---|
| 評 価 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学校園と各関係機関とのネットワークが構築され、共通理解を図る機会が定着し、縦横の連携が充実してきた。</li> <li>・ 保育園との連携も強化され、就学に関して保幼小の連携体制等が整ってきた。</li> <li>・ 縦横の連携を活用することにより、職員の意識改革、指導力や支援方法の向上を図ることができた。</li> <li>・ 関係機関の協力のもと、早期からの教育相談を実施することにより、より適切な就学指導につなげることができた。</li> <li>・ 5 歳児発達相談が始まり、療育事業への繋がりを含め、就学に対する相談にも対応できた。</li> <li>・ 各機関との合同の巡回相談及び県立東はりま特別支援学校による教育相談・巡回相談を実施することができた。また、校区毎の引き継ぎ会（ネットワーク会議）により、入学時の 4 月当初から支援を開始できる体制作りができた。</li> </ul> |
|-----|---|

|                |  |
|----------------|--|
| <p>課<br/>題</p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・未就園児、町外の園児に対する教育相談体制の充実が求められている。</li> <li>・各校の特別支援教育の次期担当者を育成する必要がある。</li> <li>・インクルーシブ教育（合理的配慮・基礎的環境整備）をさらに推進する必要がある。</li> <li>・特別な支援が必要な児童生徒への、周囲の理解をさらに深めていく必要がある。</li> </ul>   |
| <p>今後の方向性</p>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・関係諸機関、学校園、家庭の連携を強化することにより、情報収集に努め未就園児、町外の園児に対する教育相談体制を確立していく。</li> <li>・管理職は長期的な視点に立った人材育成と人員配置に努める。</li> <li>・障害者差別解消法が平成 28 年 4 月 1 日より施行されたことに伴う「障害を理由とする差別の解消と合理的な配慮の実施」に係る具体的な対応と事例の検討を行う。</li> <li>・「障害を理由とする差別の解消の推進に関する対応要領（教職員対象）」の作成と内容の検討を行う。</li> <li>・学校教育活動全体で、人権教育を推進し、一人一人の違いを認め合い、助け合う学校風土を醸成する。</li> </ul> |

| 1   |     |   |   |   | 2   |     |     |   |   | 3 |     |     |     |   |   |   |     |   |
|-----|-----|---|---|---|-----|-----|-----|---|---|---|-----|-----|-----|---|---|---|-----|---|
| (1) | (2) |   |   |   | (3) | (1) | (2) |   |   |   | (3) | (1) | (2) |   |   |   | (3) |   |
| ①   | ①   | ② | ③ | ④ | ①   | ②   | ①   | ② | ① | ② | ①   | ②   | ③   | ① | ② | ③ | ①   | ② |

### (3) 学校力の向上

|         |                              |
|---------|------------------------------|
| 施 策 名   | ②教職員の資質向上                    |
| 主 な 取 組 | ・ 教職員の教育技術と指導力の向上のための研修を充実する |

|         |  |
|---------|--|
| 実 施 内 容 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 町教委、各学校の主催による生徒指導や特別支援教育、教科指導等に関する講演会、研修会の実施</li> <li>・ 播磨町教育委員会指定校事業としてH28年度より全小中学校を対象に2年間の研究指定をし、教科等の研究を推進することで教員の資質・能力のさらなる向上を図る。</li> </ul> |
| 事業評価書   | P28～P29  |

|     |  |
|-----|--|
| 評 価 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 若年教諭からミドルリーダー、ベテラン教諭までそれぞれの年代に求められている資質能力を向上させる研修会を実施することができた。</li> <li>・ 各学校において、日常的な勤務を通して、OJT（職場において業務を通じて先輩が後輩の指導を行う）を活用し、教職員の中で同僚性と協働性を育て高め、組織として課題解決にあたることのできる学校風土が醸成されてきた。</li> <li>・ 平成28年度から2年間の指定で、播磨中学校で道徳の研究を始めている。平成29年度には播磨中学校で研究発表会において、授業公開を行った。また、平成29年度から2年間、蓮池小学校において理数教育について研究を行っている。平成30年度からの新学習指導要領実施を見据え、大学から継続して専任の講師を招いて研究授業を実施することにより、教員一人一人が共通の課題を持って、日々の授業力の向上に努めることができた。また、研究授業や校内研修会を公開することで、町内他校の教員の参加を促し、町内全体の道徳教育のレベルアップにもつなげている。</li> </ul> |
|-----|--|

|        |  |
|--------|--|
| 課 題    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ベテラン教員の大量退職、若手教員の増加に伴う学校力の低下が危惧されている今日、さらに教員の資質・能力の向上に努めていく必要がある。</li> </ul>   |
| 今後の方向性 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・新学習指導要領実施を見据え、新たな教育に対応するための研修を実施したり、播磨町教育委員会指定校事業の研究成果を町教職員で共有したりすることを通して指導力の向上に努める。</li> <li>また、それぞれが課題意識を持ち、キャリアステージに応じた研修計画を立て、受講し、指導力向上を図る。</li> </ul> |

基本方針 3 《ふるさと播磨町に誇りを持ち、生涯にわたって、いきいきと学び続けることができる教育を推進する》

| 1   |     |   |   |   | 2   |     |     |   |   | 3 |     |     |     |   |   |   |     |   |
|-----|-----|---|---|---|-----|-----|-----|---|---|---|-----|-----|-----|---|---|---|-----|---|
| (1) | (2) |   |   |   | (3) | (1) | (2) |   |   |   | (3) | (1) | (2) |   |   |   | (3) |   |
| ①   | ①   | ② | ③ | ④ | ①   | ②   | ①   | ② | ① | ② | ①   | ②   | ③   | ① | ② | ③ | ①   | ② |

(1) ふるさとを愛する心の醸成

|      |                        |
|------|------------------------|
| 施策名  | ①グローバル化への対応            |
| 主な取組 | ・心やすらぐ安全・安心かつ快適な学校園の整備 |

|       |                                    |
|-------|------------------------------------|
| 実施内容  | ・国際理解教育、外国語活動の充実<br>・多文化共生サポーターの配置 |
| 事業評価書 | P 30～P 31                          |

|    |   |
|----|---|
| 評価 | ・幼稚園から中学校まで、ALTを活用し、計画的に国際理解教育、外国語教育を実施する中で、幼少期から外国語に慣れ親しみ、体験的に多文化について理解を深め、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度が育成されてきている。<br>・多文化共生サポーターを配置することで、小中学校で学習上、生活上の困難を抱えている児童生徒の支援を行うことができた。 |
|----|---|

|        |   |
|--------|---|
| 課題     | ・外国語を母語とする支援が必要な児童生徒は増加傾向にあり、また、それぞれの児童生徒の母語も多様化している。今後、それぞれの母語に対応できる多文化共生サポーターの人員確保が課題となってくる。<br>・小学校英語の教科化に対応するためにも、教師自らが多文化を理解するとともに、積極的なコミュニケーションを図れるような研修等の取組が必要である。 |
| 今後の方向性 | ・県の子ども多文化共生センターや国際交流協会等とも連携し、今後も多文化共生サポーターを継続して配置していくように努める。<br>・新学習指導要領実施に向け、小中学校の合同研修会を行うなど、英語教育の連携に努める。  |

| 1   |     |   |   |   | 2   |     |     |   |     | 3   |     |   |   |     |   |   |   |   |
|-----|-----|---|---|---|-----|-----|-----|---|-----|-----|-----|---|---|-----|---|---|---|---|
| (1) | (2) |   |   |   | (3) | (1) | (2) |   | (3) | (1) | (2) |   |   | (3) |   |   |   |   |
| ①   | ①   | ② | ③ | ④ | ①   | ②   | ①   | ② | ①   | ②   | ①   | ② | ③ | ①   | ② | ③ | ① | ② |

**(1) ふるさとを愛する心の醸成**

|         |   |
|---------|---|
| 施 策 名   | ②郷土文化への理解の促進  |
| 主 な 取 組 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分たちの暮らす地域に愛着を持ち、大切にできる心を育てる</li> <li>・地域の伝統や文化に触れる機会を提供する</li> <li>・郷土資料館や県立考古博物館との連携を深め積極的な情報発信を行う</li> </ul> |

|         |  |
|---------|--|
| 実 施 内 容 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・郷土資料館で特別展を開催</li> <li>・親子文化財教室の開催</li> <li>・郷土の先覚者に関する講演会の開催や定期的な広報紙の発行</li> </ul> |
| 事業評価書   | P 32～P 35  |

|     |  |
|-----|--|
| 評 価 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・郷土資料館では大中遺跡まつりに焦点をあてた特別展を開催し、27回目を迎えたまつりの変遷をパネルにして、来場された住民に紹介することができた。</li> <li>・様々な親子文化財教室を開催するとともに、歴史講座も定期的で開催した。</li> </ul> |
|-----|--|

|        |  |
|--------|--|
| 課 題    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・収集した歴史資料の適正な保管だけでなく、研究成果の開示や活用が求められている。</li> </ul>   |
| 今後の方向性 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・生涯学習の観点から、親子文化財教室においては対象者を幼児から高齢者までが参加できるように、その内容を充実させ地域の伝統や文化に触れる機会を提供していく。</li> <li>・積極的な情報発信を行う。</li> <li>・文化財保護啓発を進めるなかで、ボランティアの発掘や指導者の育成及び文化財のさらなる活用を図る。</li> </ul> |

| 1   |     |   |   |   | 2   |     |     |     |     | 3   |     |     |     |     |   |   |   |   |
|-----|-----|---|---|---|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|---|---|---|---|
| (1) | (2) |   |   |   | (3) | (1) | (2) | (3) | (1) | (2) | (3) | (1) | (2) | (3) |   |   |   |   |
| ①   | ①   | ② | ③ | ④ | ①   | ②   | ①   | ②   | ①   | ②   | ①   | ②   | ③   | ①   | ② | ③ | ① | ② |

### (1) ふるさとを愛する心の醸成

|         |   |
|---------|---|
| 施 策 名   | ③郷土文化財の活用   |
| 主 な 取 組 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・文化財の調査研究と適正保存を図る</li> <li>・文化財を活用したイベントを実施する</li> <li>・郷土の先覚者や文化・歴史への理解を深める機会の提供に努める</li> </ul>   |
| 実 施 内 容 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・文化財の適切な管理や埋蔵文化財の発掘調査及び出土品の整理</li> <li>・大中遺跡まつりの開催</li> <li>・郷土の歴史や文化、文化財等に関する歴史講座の開催</li> </ul>   |
| 事業評価書   | P 36～P 39   |
| 評 価     | <ul style="list-style-type: none"> <li>・郷土の文化遺産を活用するとともに、関連したイベントを開催することにより、郷土を知り、郷土を愛するきっかけづくりに努めた。</li> </ul>   |
| 課 題     | <ul style="list-style-type: none"> <li>・県立考古博物館と連携しながらボランティアの発掘・育成が緊急課題となっている。</li> <li>・郷土資料館は開館から 33 年経過し、建設当初から収集した歴史資料の数も年々増加しており、このままでは適正な保管だけでなく、展示やその活用が非常に困難な状況となっている。</li> </ul> |
| 今後の方向性  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・県立考古博物館と連携しながらボランティアの発掘、指導者の育成、施設運営に係る協力体制を確立するように努める。</li> <li>・町指定文化財について継続調査を行うとともに、伝統文化の継承、文化財の保存及び普及啓発を推進していく。</li> </ul>                    |

| 1   |     |   |   |   | 2   |     |     |     |     | 3   |   |   |     |   |   |
|-----|-----|---|---|---|-----|-----|-----|-----|-----|-----|---|---|-----|---|---|
| (1) | (2) |   |   |   | (3) | (1) | (2) | (3) | (1) | (2) |   |   | (3) |   |   |
| ①   | ①   | ② | ③ | ④ | ①   | ②   | ①   | ②   | ①   | ②   | ① | ② | ③   | ① | ② |

## (2) 生涯学習の推進

|        |   |            |
|--------|---|------------|
| 政策名    | ①   | 生涯学習の機会の提供 |
| 主な取組   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・学習環境の整備を実施する。</li> <li>・施設が適正に維持管理されるよう指定管理者との連携を密に行う。</li> <li>・芸術文化活動の推進を図る。</li> </ul>   |            |
| 実施内容   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・社会教育施設の改修を行い、施設設備の充実と安全管理の推進</li> <li>・指定管理者制度による社会教育施設（中央公民館・各コミュニティセンター・図書館）の管理運営</li> </ul>  |            |
| 事業評価書  | P 40～P 43   |            |
| 評価     | <ul style="list-style-type: none"> <li>・各社会教育施設が指定管理者によって適正に管理運営され、多くの住民に利用された。</li> <li>・それぞれの施設において、特色ある事業が展開され、多様な学習機会が提供された。</li> <li>・図書館において蔵書を利用した「調べる学習コンクール」に多くの応募者を得ることができた。</li> </ul> |            |
| 課題     | <ul style="list-style-type: none"> <li>・それぞれの社会教育施設において老朽化が進行しており、通常の管理運営上において支障が生じている。</li> <li>・生涯学習の多様なニーズに対応した施設運営が求められている。</li> <li>・図書館は「貸出人数」「貸出冊数」の逡減が生じている。</li> </ul>                   |            |
| 今後の方向性 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・学びの成果を次の学びに活かし、あるいは地域貢献へつなげるといった「循環」の仕組みを構築し、更なる芸術文化活動の推進を行う。</li> <li>・老朽化が進行している社会教育施設を計画的に改修し、良好な学習環境を提供する。</li> <li>・より一層魅力ある図書館運営に努める。</li> </ul>    |            |

| 1   |     |   |   |   | 2   |     |     |   |   | 3 |     |     |     |   |   |   |     |   |
|-----|-----|---|---|---|-----|-----|-----|---|---|---|-----|-----|-----|---|---|---|-----|---|
| (1) | (2) |   |   |   | (3) | (1) | (2) |   |   |   | (3) | (1) | (2) |   |   |   | (3) |   |
| ①   | ①   | ② | ③ | ④ | ①   | ②   | ①   | ② | ① | ② | ①   | ②   | ③   | ① | ② | ③ | ①   | ② |

## (2) 生涯学習の推進

|      |   |               |
|------|---|---------------|
| 政策名  | ②   | 生涯学習関係団体の活動支援 |
| 主な取組 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・生涯学習関係団体の自主活動を促進できるよう、必要な支援を行う</li> <li>・指導者が必要な知識や技能を身につけられるよう、交流などを進める</li> </ul> |               |

|       |   |
|-------|---|
| 実施内容  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・奉仕活動や学習活動、福祉活動を推進する女性団体への補助金交付</li> <li>・地域活動団体への補助金交付</li> <li>・子ども会育成連絡協議会への支援</li> <li>・第2回はりま風薫るフェスタ実行委員会への補助金交付</li> </ul> |
| 事業評価書 | P44～P46   |

|    |  |
|----|--|
| 評価 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域づくり活動や子育て支援活動、環境保護活動などに取り組み、温かい人間関係で結ばれた住みよい地域づくりを推進した。</li> <li>・各実行委員会等がそれぞれ企画運営を行い、創意工夫をしながら実施できた。</li> <li>・「文化祭」「美術展」「菊花展」は、住民が芸術文化に触れる機会であり、文化活動団体が実行委員として取り組むことで、団体の継続・育成につながった。特に、町制55周年記念事業によって例年以上の活動を実施することができた。</li> <li>・第2回目としての「はりま風薫るフェスタ」においては、終盤、降雨によって閉会時間を繰り上げる結果となったが、多数の来場者を得ることができた。</li> </ul> |
|----|--|

|        |  |
|--------|--|
| 課題     | <ul style="list-style-type: none"> <li>・生涯学習関係団体の構成員が固定化・高齢化しており、後継者不足が懸念されている。</li> <li>・子ども会育成連絡協議会への加入者数等が減少傾向にあり、活性化がはかれない。</li> </ul>                       |
| 今後の方向性 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・生涯学習関係団体が活動を継続できるよう、引き続き必要な支援を行う。</li> <li>・新たな活動団体を発掘し、既存団体との連携を築く。</li> <li>・子ども会育成連絡協議会の活動をPRし、魅力度のアップを図る。</li> </ul> |

| 1   |     |   |   |   | 2   |     |     |   |   | 3 |     |     |     |   |   |   |     |   |
|-----|-----|---|---|---|-----|-----|-----|---|---|---|-----|-----|-----|---|---|---|-----|---|
| (1) | (2) |   |   |   | (3) | (1) | (2) |   |   |   | (3) | (1) | (2) |   |   |   | (3) |   |
| ①   | ①   | ② | ③ | ④ | ①   | ②   | ①   | ② | ① | ② | ①   | ②   | ③   | ① | ② | ③ | ①   | ② |

## (2) 生涯学習の推進

|      |   |         |
|------|---|---------|
| 政策名  | ③   | スポーツの振興 |
| 主な取組 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・スポーツの習慣化を図る。</li> <li>・NPO 法人「スポーツクラブ 21 はりま」との連携を行う。</li> <li>・スポーツ振興を行う人材の育成を図る。</li> </ul> |         |

|       |   |
|-------|---|
| 実施内容  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・スポーツ推進委員によりスポーツ・レクリエーション活動の日常化を推進</li> <li>・小・中学校の体育施設を開放し、住民のふれあいや健康増進の場として活用</li> <li>・総合型地域スポーツクラブの育成支援</li> <li>・夏季の水泳施設として学校プールを一般開放し適正な管理運営を実施</li> <li>・各スポーツ施設を指定管理者により適正に管理運営</li> </ul> |
| 事業評価書 | P 47～P 51   |

|    |   |
|----|---|
| 評価 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校施設が地域住民のスポーツ・ふれあい活動の場として利用され、健康づくりや仲間づくりに貢献できた。</li> <li>・少子高齢化の中、子どものスポーツ教室や初心者スポーツ教室等の開催により、小学生や主婦層を中心に参加者が増加した。</li> <li>・播磨小学校に続き蓮池小学校のプールを開放し、幅広い年代層の使用があった。</li> <li>・指定管理者である「スポーツクラブ 21 はりま」により管理運営ができた。</li> </ul> |
|----|---|

|        |   |
|--------|---|
| 課題     | <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成 28 年度、総合体育館と新島球場の大規模な改修が実施されたが、他のスポーツ施設においても老朽化が進行しており、今後計画的に整備を行う必要がある。</li> <li>・総合型地域スポーツクラブの支援方法を再考する必要がある。</li> </ul>   |
| 今後の方向性 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・「するスポーツ」だけでなく、「みるスポーツ」「ささえるスポーツ」の推進に向け、具体的な取組を検討する。</li> <li>・スポーツ施設を計画的に改修する。</li> <li>・平成 13 年度より実施してきた「総合型地域スポーツクラブ」の財政的支援については目的達成が図られたことから廃止の方向で検討する。</li> </ul> |

| 1   |     |   |   |   | 2   |     |     |   |   | 3 |     |     |     |   |   |   |     |   |
|-----|-----|---|---|---|-----|-----|-----|---|---|---|-----|-----|-----|---|---|---|-----|---|
| (1) | (2) |   |   |   | (3) | (1) | (2) |   |   |   | (3) | (1) | (2) |   |   |   | (3) |   |
| ①   | ①   | ② | ③ | ④ | ①   | ②   | ①   | ② | ① | ② | ①   | ②   | ③   | ① | ② | ③ | ①   | ② |

### (3) 人権尊重の地域づくり

|      |   |         |
|------|---|---------|
| 政策名  | ①   | 人権教育の推進 |
| 主な取組 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・人権にかかる課題と展望の明確化を図る</li> <li>・諸団体との連携に努める</li> </ul> |         |

|       |   |  |
|-------|---|--|
| 実施内容  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・啓発行事（講演会、映画会、コミセンのつどい）の実施及び啓発資料（啓発カレンダー、人権教育のすすめ）の作成・配布</li> <li>・播磨町人権・同和教育研究協議会（播同協）への補助及び協働</li> <li>・男女共同参画社会の実現に向けた啓発活動と庁内推進体制の整備</li> </ul> |  |
| 事業評価書 | P 52～P 54   |  |

|    |  |  |
|----|--|--|
| 評価 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・人権啓発カレンダーは、住民による人権標語等を掲載したり利便性に配慮したりすることにより、多く住民に愛用されており、高い啓発効果を得られた。</li> <li>・町制55周年記念事業による講演会を実施することができ、多くの町民の参加があった。</li> <li>・播同協との協働により、地域の実情を踏まえつつ、播磨町人権教育基本方針に則った取組が推進できた。</li> <li>・播同協は、地域・学校園・企業など様々な分野から委員を選出しており、町全体で人権教育・啓発に取り組むことができた。</li> </ul> |  |
|----|--|--|

|        |   |  |
|--------|---|--|
| 課題     | <ul style="list-style-type: none"> <li>・人権三法（平成28年施行）の周知と具体的な行動が必要である。</li> <li>・インターネットを悪用した人権侵害、性的マイノリティへの偏見、ヘイトスピーチなど、新たな人権問題への対応が必要である。</li> <li>・男女共同参画の推進には、様々な分野での取組が必要である。</li> </ul> |  |
| 今後の方向性 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・諸団体との更なる連携・協働を進め、新たな人権問題に対応した人権教育・啓発を推進する。</li> <li>・男女共同参画推進の庁内推進体制を確立したうえで、町全体の取組体制を整備する。</li> </ul>  |  |

| 1   |     |   |   |   | 2   |     |     |   |   | 3 |     |     |     |   |   |   |     |   |
|-----|-----|---|---|---|-----|-----|-----|---|---|---|-----|-----|-----|---|---|---|-----|---|
| (1) | (2) |   |   |   | (3) | (1) | (2) |   |   |   | (3) | (1) | (2) |   |   |   | (3) |   |
| ①   | ①   | ② | ③ | ④ | ①   | ②   | ①   | ② | ① | ② | ①   | ②   | ③   | ① | ② | ③ | ①   | ② |

### (3) 人権尊重の地域づくり

|      |  |         |
|------|--|---------|
| 政策名  | ②  | 人権学習の充実 |
| 主な取組 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・人権学習の機会を提供する</li> <li>・地域の指導者の養成と支援を行う</li> <li>・地域活動の活性化に努める</li> </ul> |         |

|       |  |  |
|-------|--|--|
| 実施内容  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・「いきいきフォーラム」の実施、人権啓発資料の配布・貸出、講演会や映画会の開催</li> <li>・「いきいき活動推進委員」や自治会長を対象とした研修会の実施</li> <li>・人権啓発リーダー養成講座「ふれあいウェブ」の実施</li> <li>・地域学習への補助金交付</li> </ul> |  |
| 事業評価書 | P52～P54  |  |

|    |   |  |
|----|---|--|
| 評価 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・各自治会において、よりよい人間関係づくりの取組が「いきいき活動推進委員」の企画・運営により主体的に進められた。中には、年間を通し継続的な活動を行う自治会もある。</li> <li>・補助金の活用により、自治会の実態やニーズに即した人権学習が行われることで、内容が充実してきた。</li> <li>・「男女共同参画」市内推進委員の研修や、女性の就業に向けた支援（セミナー、相談）を行うことにより、男女共同参画社会の実現に向けた学びや情報交換の場を提供できた。</li> </ul> |  |
|----|---|--|

|        |   |  |
|--------|---|--|
| 課題     | <ul style="list-style-type: none"> <li>・委員の高齢化・固定化が見受けられる。</li> <li>・委員の頻繁な交代や引き受け手の不足等により、地域学習の取組が困難な自治会も見受けられる。</li> </ul>  |  |
| 今後の方向性 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・いきいき活動推進委員や播同協委員の経験者を次期委員の研修講師や他の委員に登用するなどして活躍の場を拡げ、リーダー養成を進める。</li> <li>・地域学習の主体性を尊重しつつ、あらゆる差別の解消に向けた適切な助言や支援を行う。</li> </ul> |  |

## 施設改修について

学校施設の老朽化対策（事業評価書 P 55～P 60）

| 実施内容   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校施設整備計画により下記について順次実施</li> <li>① 播磨小学校南校舎（昭和 44 年竣工）大規模改造 工事</li> <li>② 播磨南小学校校舎（昭和 58 年竣工）大規模改造 工事</li> <li>③ 中学校空調設備新設工事 工事实施設計業務 委託</li> <li>④ 播磨南中学校東校舎（昭和 59 年竣工）大規模改造 工事</li> <li>⑤ 播磨中学校プール（昭和 39 年竣工）改築 工事</li> <li>⑥ 幼稚園空調設備新設工事 工事实施設計業務 委託</li> </ul>  |               |               |           |        |   |               |               |              |   |               |               |              |   |             |     |             |   |               |               |             |   |               |               |              |   |             |     |             |   |               |               |               |
|--------|---|---------------|---------------|-----------|--------|---|---------------|---------------|--------------|---|---------------|---------------|--------------|---|-------------|-----|-------------|---|---------------|---------------|-------------|---|---------------|---------------|--------------|---|-------------|-----|-------------|---|---------------|---------------|---------------|
| 成果     | <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校現場とも協議し、できる限り現場や子どもたちの意見を取り入れることができた。また、補助金等の対象となるような準備を行った。</li> <li>・避難所機能の充実も合わせて実施した。</li> </ul> <table border="1" data-bbox="451 891 1273 1406"> <thead> <tr> <th></th> <th>支出額</th> <th>補助金・起債合計額</th> <th>差引町負担額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①</td> <td>284,612,400 円</td> <td>251,307,000 円</td> <td>33,305,400 円</td> </tr> <tr> <td>②</td> <td>229,469,347 円</td> <td>183,623,000 円</td> <td>45,846,347 円</td> </tr> <tr> <td>③</td> <td>5,670,000 円</td> <td>0 円</td> <td>5,670,000 円</td> </tr> <tr> <td>④</td> <td>121,251,600 円</td> <td>113,832,000 円</td> <td>7,419,600 円</td> </tr> <tr> <td>⑤</td> <td>135,772,076 円</td> <td>122,430,000 円</td> <td>13,342,076 円</td> </tr> <tr> <td>⑥</td> <td>3,240,000 円</td> <td>0 円</td> <td>3,240,000 円</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>780,015,423 円</td> <td>671,192,000 円</td> <td>108,823,423 円</td> </tr> </tbody> </table> |               | 支出額           | 補助金・起債合計額 | 差引町負担額 | ① | 284,612,400 円 | 251,307,000 円 | 33,305,400 円 | ② | 229,469,347 円 | 183,623,000 円 | 45,846,347 円 | ③ | 5,670,000 円 | 0 円 | 5,670,000 円 | ④ | 121,251,600 円 | 113,832,000 円 | 7,419,600 円 | ⑤ | 135,772,076 円 | 122,430,000 円 | 13,342,076 円 | ⑥ | 3,240,000 円 | 0 円 | 3,240,000 円 | 計 | 780,015,423 円 | 671,192,000 円 | 108,823,423 円 |
|        | 支出額   | 補助金・起債合計額     | 差引町負担額        |           |        |   |               |               |              |   |               |               |              |   |             |     |             |   |               |               |             |   |               |               |              |   |             |     |             |   |               |               |               |
| ①      | 284,612,400 円   | 251,307,000 円 | 33,305,400 円  |           |        |   |               |               |              |   |               |               |              |   |             |     |             |   |               |               |             |   |               |               |              |   |             |     |             |   |               |               |               |
| ②      | 229,469,347 円   | 183,623,000 円 | 45,846,347 円  |           |        |   |               |               |              |   |               |               |              |   |             |     |             |   |               |               |             |   |               |               |              |   |             |     |             |   |               |               |               |
| ③      | 5,670,000 円   | 0 円           | 5,670,000 円   |           |        |   |               |               |              |   |               |               |              |   |             |     |             |   |               |               |             |   |               |               |              |   |             |     |             |   |               |               |               |
| ④      | 121,251,600 円   | 113,832,000 円 | 7,419,600 円   |           |        |   |               |               |              |   |               |               |              |   |             |     |             |   |               |               |             |   |               |               |              |   |             |     |             |   |               |               |               |
| ⑤      | 135,772,076 円   | 122,430,000 円 | 13,342,076 円  |           |        |   |               |               |              |   |               |               |              |   |             |     |             |   |               |               |             |   |               |               |              |   |             |     |             |   |               |               |               |
| ⑥      | 3,240,000 円   | 0 円           | 3,240,000 円   |           |        |   |               |               |              |   |               |               |              |   |             |     |             |   |               |               |             |   |               |               |              |   |             |     |             |   |               |               |               |
| 計      | 780,015,423 円   | 671,192,000 円 | 108,823,423 円 |           |        |   |               |               |              |   |               |               |              |   |             |     |             |   |               |               |             |   |               |               |              |   |             |     |             |   |               |               |               |
| 評価・課題  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・着実に老朽化対策を進めている。校舎の大規模改修工事は 2 か年にわたることが多く、学校との協議を重ね、学校運営の支障とならないよう実施する。</li> <li>・補助金の獲得については、いつでも工事に取り掛かれるような工夫が必要であり、厳しい財政情勢下、非常に難しい現状である。今後、補助対象になるまで工事を遅らせるなど、計画自体を柔軟に検討していく必要がある。</li> </ul>  |               |               |           |        |   |               |               |              |   |               |               |              |   |             |     |             |   |               |               |             |   |               |               |              |   |             |     |             |   |               |               |               |
| 今後の方向性 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもたちの教育環境を整え、快適な学校生活を送ることができるよう、財政の調整、優先順位の見直しを、効率的に進めていく。</li> <li>・懸案事項であったエアコンの設置については、平成 31 年度までにすべての学校園で設置を進め、さらなる温暖化に備える。</li> </ul>   |               |               |           |        |   |               |               |              |   |               |               |              |   |             |     |             |   |               |               |             |   |               |               |              |   |             |     |             |   |               |               |               |

生涯学習施設の老朽化対策（事業評価書P61～P65）

| 実施内容   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・施設整備計画により下記について順次実施</li> <li>① 中央公民館（昭和53年竣工）設計（大ホール）</li> <li>② 野添コミセン（昭和54年竣工）改修（エレベーター、自動ドア）</li> <li>③ 西部コミセン（平成11年竣工）改修（エアコン）</li> <li>④ 図書館（昭和57年竣工）改修（自動火災報知設備）、設計（外壁）</li> <li>⑤ 総合体育館（昭和54年竣工）改修（利用者用駐車場舗装、大体育室棟資材置場フェンス）</li> </ul>  |           |              |  |     |           |        |   |             |     |             |   |             |     |             |   |             |     |             |   |             |     |             |   |             |     |             |   |              |     |              |
|--------|--|-----------|--------------|--|-----|-----------|--------|---|-------------|-----|-------------|---|-------------|-----|-------------|---|-------------|-----|-------------|---|-------------|-----|-------------|---|-------------|-----|-------------|---|--------------|-----|--------------|
| 成 果    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・利用の多い施設であり、老朽化対策の要望も多かった。快適な生涯学習の場として改修が進んだ。</li> </ul> <table border="1" data-bbox="451 745 1310 1193"> <thead> <tr> <th></th> <th>支出額</th> <th>補助金・起債合計額</th> <th>差引町負担額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①</td> <td>2,427,840 円</td> <td>0 円</td> <td>2,427,840 円</td> </tr> <tr> <td>②</td> <td>3,479,760 円</td> <td>0 円</td> <td>3,479,760 円</td> </tr> <tr> <td>③</td> <td>6,037,200 円</td> <td>0 円</td> <td>6,037,200 円</td> </tr> <tr> <td>④</td> <td>2,400,818 円</td> <td>0 円</td> <td>2,400,818 円</td> </tr> <tr> <td>⑤</td> <td>9,614,160 円</td> <td>0 円</td> <td>9,614,160 円</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>23,959,778 円</td> <td>0 円</td> <td>23,959,778 円</td> </tr> </tbody> </table> |           |              |  | 支出額 | 補助金・起債合計額 | 差引町負担額 | ① | 2,427,840 円 | 0 円 | 2,427,840 円 | ② | 3,479,760 円 | 0 円 | 3,479,760 円 | ③ | 6,037,200 円 | 0 円 | 6,037,200 円 | ④ | 2,400,818 円 | 0 円 | 2,400,818 円 | ⑤ | 9,614,160 円 | 0 円 | 9,614,160 円 | 計 | 23,959,778 円 | 0 円 | 23,959,778 円 |
|        | 支出額  | 補助金・起債合計額 | 差引町負担額       |  |     |           |        |   |             |     |             |   |             |     |             |   |             |     |             |   |             |     |             |   |             |     |             |   |              |     |              |
| ①      | 2,427,840 円  | 0 円       | 2,427,840 円  |  |     |           |        |   |             |     |             |   |             |     |             |   |             |     |             |   |             |     |             |   |             |     |             |   |              |     |              |
| ②      | 3,479,760 円  | 0 円       | 3,479,760 円  |  |     |           |        |   |             |     |             |   |             |     |             |   |             |     |             |   |             |     |             |   |             |     |             |   |              |     |              |
| ③      | 6,037,200 円  | 0 円       | 6,037,200 円  |  |     |           |        |   |             |     |             |   |             |     |             |   |             |     |             |   |             |     |             |   |             |     |             |   |              |     |              |
| ④      | 2,400,818 円  | 0 円       | 2,400,818 円  |  |     |           |        |   |             |     |             |   |             |     |             |   |             |     |             |   |             |     |             |   |             |     |             |   |              |     |              |
| ⑤      | 9,614,160 円  | 0 円       | 9,614,160 円  |  |     |           |        |   |             |     |             |   |             |     |             |   |             |     |             |   |             |     |             |   |             |     |             |   |              |     |              |
| 計      | 23,959,778 円   | 0 円       | 23,959,778 円 |  |     |           |        |   |             |     |             |   |             |     |             |   |             |     |             |   |             |     |             |   |             |     |             |   |              |     |              |
| 評価・課題  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・改修等の要望が強かったため改修を行い、安全・快適に利用できるようになった。今後もできるところから順次改修していく必要がある。</li> <li>・多くの住民の利用する施設であり、なるべく利用に支障がないように検討する。</li> </ul>   |           |              |  |     |           |        |   |             |     |             |   |             |     |             |   |             |     |             |   |             |     |             |   |             |     |             |   |              |     |              |
| 今後の方向性 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・その他の社会教育施設についても、利用者に快適な環境を提供できるよう、優先順位をつけ順次改修を進めていく。</li> </ul>  |           |              |  |     |           |        |   |             |     |             |   |             |     |             |   |             |     |             |   |             |     |             |   |             |     |             |   |              |     |              |

## 評価委員の意見

### 〈総括的な意見〉

播磨町教育委員会の「教育に関する事務の管理及び執行状況の点検・評価報告書（平成 29 年度実績）」は、「第 2 期播磨町教育振興基本計画」（平成 28 年度～平成 32 年度）の主要政策に沿って点検・評価を行っている。また、参考資料として添付された「平成 29 年度事業評価書（教育委員会分）」は、「第 4 次播磨町総合計画」（平成 23 年度～平成 32 年度）の「基本計画中間見直し」に沿って 65 事業の評価を行っている。

教育振興基本計画では、「播磨町がめざす教育の姿」の一つとして、「家庭・学校園・地域社会連携の構築」が挙げられている。①多方面からボランティアを募ることなどにより、地域全体で子どもを育てる体制づくりを進めること、②その一方で、重要な教育課題（外国語教育の充実、授業改善の活性化、いじめの未然防止・早期発見・早期対応等）を解決するための「学校力の向上」施策（教職員研修体制の整備、教育環境の充実等）を推進すること、以上 2 点を骨子とする方針である。

平成 29 年度においても、この方針に即した事業（「サポートチーム播磨推進事業」「家庭教育啓発事業」「地域の教育力向上事業」「小学校英語活動推進事業」「外国人英語指導助手招致事業」「教育研究指導事業」「播磨町教育委員会指定校事業」「子ども支援事業」「青少年健全育成事業」学校施設整備関係事業等）が着実に推進されており、その点検・評価の記述内容についても概ね妥当であると評価できる。

また、「播磨町がめざす教育の姿」では、「ふるさとへの愛を育む生涯学習社会の形成」も、方針の一つとして掲げられているが、町制 55 周年記念事業として例年以上に充実した文化行事が開催された点、歴史的・文化資源の保存・活用に係る事業が適切に実施されている点は、高く評価できる。

平成 29 年 3 月には、幼稚園教育要領、小中学校学習指導要領の改訂告示が公示された。平成 29 年度は、新教育要領・新学習指導要領の周知・徹底期であり、その実施に必要な諸条件の整備が開始された年度でもあった。子どもの「主体的・対話的で深い学び」を進めるため、各学校におけるカリキュラム・マネジメントの確立が要請されることになったが、播磨町の総合計画・教育振興基本計画は、かねてより教育活動の質的向上、学習効果の最大化を図る諸施策の推進を促している。次年度以降も、これらの計画に沿った教育委員会事業が意欲的に展開され、その自己点検・評価の手法も更なる工夫が検討されることを期待している。

## 《政策ごとの意見》

### 1-1 きめ細かな幼児教育の推進

- ・小学校英語活動推進事業を通じて、幼稚園児にも外国語に触れる機会を設けている点は評価できる。
- ・幼稚園児を、就学予定の小学校の運動会に参加させるなど、幼稚園・小学校間の円滑な接続を図る取組を進めている点は評価できる。

### 1-2 「生きる力」を育む教育の推進

- ・奨学金については、貸付人数を制限せず、希望者全員に貸付を行った点は、高く評価できる。
- ・就学援助事業において、新入学児童生徒学用品費につき、入学前の早期支給を実施した点も、高く評価できる。
- ・サポートチーム播磨推進事業において、各小中学校に学校生活サポーター等を配置し、きめ細かな指導を行っている点は評価できる。
- ・子ども支援事業における不登校児童生徒等への対応については、電話相談件数が減少しているので、SNS相談窓口の開設を検討していただきたい。
- ・周辺地域に気象警報が発令されていても、播磨町に警報が発令されていないこともあるので、警報発令の有無に関わらず、自らの生命を守るための行動がとれるよう、学校における防災教育の充実を図る必要がある。

### 1-3 キャリア教育の推進

- ・各学校の蔵書データベースを活用することにより、キャリア教育関係図書の計画的な購入、有効な利用が進められている点は評価できる。
- ・小学校体験活動事業、「トライやる・ウイーク」事業においては、事前・事後指導の一層の充実を図っていただきたい。
- ・小学校体験活動事業の中の環境体験事業では、町内の自然環境を生かした体験学習が行われるなど、各校で独自の取組が進められている点は評価できる。

## 2-1 家庭・学校園・地域社会の連携

- ・サポートチーム播磨推進事業では、各小中学校において、教員と学校生活サポーターとの「学力向上」に向けた連携が進められている。また、子ども支援事業では、幼稚園・小学校・中学校の「不登校児童生徒数減少」に向けた校種間連携が進められている。これらの点は、高く評価できる。
- ・地域の教育力向上事業においては、「学校支援ボランティア」の参加者数が年々増加して、多大な成果を上げている点は、高く評価できる。
- ・家庭教育啓発事業においては、教育講演会開催事業の更なる充実を期待する。

## 2-2 信頼される教育環境の構築

- ・学校情報化推進事業においては、ICT教育の環境整備が進められ、教材ソフト等も効果的に活用されて、子どもたちの学習意欲を高めている点は評価できる。
- ・情報モラルに係る教育については、なお一層の充実を図っていただきたい。
- ・学校施設の老朽化対策、学校園の空調設備新設に係る事業が着実に進められている点は評価できる。

## 2-3 学校力の向上

- ・特別支援教育総合推進事業においては、学校園と関係機関とのネットワークが構築され、また5歳児の発達相談が開始されるなど、事業が年々充実している点は評価できる。
- ・「教職員の資質向上」に係る取組の一つとして、労働環境の改善を図る必要があると思われる。勤務時間の適正化策として、出退勤管理の徹底、部活動指導員制度の導入等が検討されるべきである。

### 3-1 ふるさとを愛する心の醸成

- ・「グローバル化への対応」施策として、多文化共生サポーターを継続して配置し、学習上、生活上の支援を行っている点は評価できる。
- ・郷土資料館において、増加する歴史資料の保管方法については、同様の課題を持つ他の博物館等の保管方法を参考にしてはどうか。利用者数を増加させるための施策も検討していただきたい。

### 3-2 生涯学習の推進

- ・社会教育施設の改修が計画的に行われ、利用者の安全安心が図られている点は評価できる。
- ・文化祭、菊花展、美術展等の文化行事が、町制 55 周年記念事業として、例年以上に充実したかたちで実施された点は、高く評価できる。
- ・大中遺跡まつりは、高校生・大学生の参画などを通じて、内容の充実が図られており、全国でも類を見ない特色ある「古代まつり」として開催されている点は、高く評価できる。

### 3-3 人権尊重の地域づくり

- ・人権教育啓発事業においては、映画会、講演会等が充実したかたちで実施されており、参加者数も増加している点は評価できる。若い世代の参加を促す行事の企画につき、更なる検討を加えていただきたい。
- ・男女共同参画推進事業が、着実に進められている点は評価できる。
- ・新たな人権問題（インターネットを悪用した人権侵害、性的マイノリティへの偏見、ヘイトスピーチ）に対応した人権教育を推進しようとしている点も、評価できる。

学識経験者(評価委員)

|         |                |
|---------|----------------|
| 加田平 靖 子 | 学校評議員          |
| 北 村 しのぶ | 社会教育委員長        |
| 笹 田 哲 男 | 兵庫大学短期大学部保育科教授 |